



全国畜産縦断いきいきネットワーク

# 令和2年度総会資料



## ■目次

### I. 第1号議案

1. 令和元年度活動報告 . . . . . 2
2. 令和元年度収支決算報告 . . . . . 7

### II. 第2号議案

1. 令和2年度活動計画（案） . . . . . 9
2. 令和2年度収支予算（案） . . . . . 12

### III. 第3号議案

1. 令和2年度理事の改選（案） . . . . . 14
- <参考> 令和元年度理事 . . . . . 15
- <参考> 会員名簿（県名・氏名・畜種） . . . . . 16

【議案】

＜承認事項＞

- I. 第1号議案 令和元年度活動報告及び収支決算報告
- II. 第2号議案 令和2年度活動計画（案）及び収支予算（案）
- III. 第3号議案 令和2年度理事の改選

上記の3議案について、別紙のとおり承認を求める。

全国畜産縦断いきいきネットワーク  
会 長 小 林 陽 子

## I. 第1号議案 令和元年度活動報告及び収支決算報告

### 1. 令和元年度活動報告

令和元年度の活動は、昨年度に引き続き「大会の開催」「情報発信・情報交換」「若手後継者の育成」「行政等との意見交換」の活動を柱として行った。

今年度は書面での総会を実施した。

また、平成30年度から中央畜産会が実施する「畜産女性経営者育成強化事業」と連携し、畜産女性の経営参画を効果的に推進するための対応策を検討する委員会や畜産女性経営者の育成を図るための研修会へ協力するなど、他団体との連携強化を図った。

大きな行事としては、大会を8月に東京都内で開催し、若手後継者育成研修会は11月に愛媛県下にて開催した。

今後も、理事を中心に広く会員の意見をくみあげ、積極的な活動への参加を図り、組織の弱体化を防ぎ、活性化に努めていく。会員の方にも、各活動の企画・具体化等についての積極的な参加と、企画案や「こんなことをやりたい」等の要望を随時募集、理事や事務局で対応していく。

#### 1) 総会

議決事項を決議するため年度内に1回開催し、今年度は書面により実施した。

##### 【決議事項】

- ・第1号議案：平成30年度活動報告及び収支決算報告
- ・第2号議案：令和元年度活動計画（案）及び収支予算（案）
- ・第3号議案：令和元年度理事選任

#### 2) 理事会

本ネットワークの活動計画や運営方針等を協議するため、本年度は理事20名（うち会長1名、副会長2名、会計監事2名）体制で理事会を下記の日程で年度内に2回開催した。

- ・第1回：令和元年5月13日
- ・第2回：令和元年10月15日
- ・第3回：令和元年3月4日に開催を予定していたが、新型コロナウイルスへの対応のため中止とした。

#### 3) 会員拡大と会員サービスの充実

##### (1) 会員数の拡大

組織の強化に向け、(一社)中央酪農会議が実施した酪農教育ファームスキルアップ研修会や、「酪農女性サミット2019 in 帯広」に事務局が参加し、本ネットワークの活動紹介等、会員数の拡大に努めるとともに本ネットワーク活動を支援する協賛会員の拡大を図った。

<会員状況（会員数・入会・退会）>（令和2年3月31日現在）

年度	期首会員数 (4月1日)	入会員数	退会員数	期末会員数 (3月31日)
平成30年度	102名	0名	2名	100名
令和元年度	100名	8名	10名	98名

＜協賛会員＞37社・団体

（継続会員）35社・団体

一般社団法人家畜改良事業団／公益社団法人日本食肉格付協会  
合同会社イーラップ／明治飼糧株式会社  
株式会社中嶋製作所／公益社団法人全国農業共済協会  
富士平工業株式会社／北海道全日本畜産経営者協会  
独立行政法人農畜産業振興機構／一般社団法人日本ホルスタイン登録協会  
全国食肉事業協同組合連合会／全国肉牛事業協同組合  
サージミヤワキ株式会社／ヨシダエルシス株式会社  
株式会社岡田製作所／中国物産株式会社  
一般社団法人日本養豚協会／東西産業貿易株式会社  
株式会社大建情報システム／全農畜産サービス株式会社  
オリオン機械株式会社／一般財団法人畜産環境整備機構  
有限会社ハーレー牧場／有限会社那須高原今牧場  
ひふみ養蜂園株式会社／協同組合日本飼料工業会  
全国畜産農業協同組合連合会／株式会社農林放送事業団  
一般社団法人日本草地畜産種子協会／一般社団法人 日本養鶏協会  
株式会社コーンズ・エージェー／埼玉県武州和牛組合  
日本養豚事業協同組合／株式会社肉牛新報社  
全国農業協同組合連合会／

（新規会員）2社・団体

中部エコテック株式会社／三友機器株式会社

（退会員）4社・団体

株式会社十勝家畜人工授精所／株式会社ハイテム  
株式会社 LifeLab／公益財団法人日本乳業技術協会

（2）会員サービスの拡充

- ・「畜産手帳」（中央畜産会発行）へ会の名入れサービスを実施。
- ・協賛会員には会員情報の提供のほか、大会資料への広告や社名・団体名の掲載、大会でのPRの場を提供した。

（3）ロゴマークの活用

シンボルマークとして、オリジナル名刺や、会員誌「いきいき通信」、その他印刷物やイベント等で、積極的に活用し、本ネットワークのPRに努めた。

#### 4) 大会の開催

組織の強化および畜産の現状、最新情報の共有を目的に年1回大会を実施。今年度は、「女（ひと）と男（ひと）ですすむ経営参画 ～ともに歩み出そう、新しい時代へ～」をテーマに、中央畜産会が実施する「畜産女性経営者育成強化事業」における「全国シンポジウム」と同日に下記の通り開催した。

また、理事の中から大会実行委員を5名選任し、大会実行委員会を令和元年6月11日に実施した。

◇開催日：令和元年8月22日（木）

◇開催場所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター（東京都中央区八重洲1-2-16）

◇参加人数：会員ほか160名

◇開催内容

- ・講演「農業における女性の活躍推進について～男女共同参画の目指すところ～」

講演者：農林水産省 経営局 就農・女性課長 横田美香さん

- ・パネルディスカッション

テーマ：女性の経営参画への道のり、男性の意識をどう変えたか

パネラー：長井節子さん（富山県 酪農）

加藤美子さん（三重県 肉用牛）

畠中五恵子さん（福岡県 採卵鶏）

柴田輝男さん（秋田県 酪農）

坂本直弥さん（神奈川県 採卵鶏）

コーディネーター：フリーアナウンサー 小谷あゆみさん

- ・全員1分間スピーチ

- ・大会宣言

◇大会実行委員（敬称略）

小林陽子 金谷恭子 柴田誠子 月井千枝子 嶋田文代

#### 5) 情報発信、会員間の意見・情報交換

「会員間の意見・情報交換」、「最新情報の収集」を行い、情報提供活動に努めた。特に情報発信は、会員が関わった活動の報告や、各地で立ち上がっている地域ネットワーク活動等について、紹介も含め情報提供した。

##### (1) 会員誌の発行

今年度は「いきいき通信」を2回発行した。

- ・第29号：令和元年10月
- ・第30号：令和元年2月

##### (2) ホームページによる情報発信

令和元年度行事についての案内・報告等、インターネットを活用した情報発信を行った。

引き続き最新の情報提供に行い、組織への参加意識を高めるようなホームページ作りに努める。

◇掲載内容

- ・令和元年度大会結果報告
- ・令和元年度大会宣言
- ・令和元年度理事名簿

- ・いきいき通信第29号、30号及び事務局通信76号、77号、78号、79号、80号、81号

### (3) 『畜産コンサルタント』誌における専門コーナーの活用

中央畜産会が発行する『畜産コンサルタント』誌において、特集記事や「女性の視点」コーナーへ会員の記事を掲載した。

### (4) 事務局通信の発行

事務局からの報告や緊急性を要する連絡事項等について、随時FAX等により周知を図った。

- ・事務局通信76号：5月15日発行
- ・事務局通信77号：5月17日発行
- ・事務局通信78号：9月4日発行
- ・事務局通信79号：10月2日発行
- ・事務局通信80号：10月7日発行
- ・事務局通信81号：12月26日発行

## 6) 消費者等との交流、研修会等の開催

### (1) 消費者等との交流

今年度は具体的な活動は実施しなかった。

### (2) 研修会等への参加

日本農業法人協会が実施する「働き方改革セミナー」、「女性が働きやすい職場づくりセミナー」の開催について案内した。

## 7) 若手後継者の育成

### (1) 若手後継者同士、親世代との交流

若手後継者育成研修会を福岡県下にて開催した。

◇開催日：令和元年11月13日（水）～11月14日（木） 1泊2日

◇開催地：愛媛県下（松山市・東温市・四国中央市）

◇参加人数：会員ほか23名

◇開催内容

- ・FoodDesign アトリエ やのくにこさんによる講演
- ・めぐり愛・姫ネットワーク 意見交換会
- ・四国乳業株式会社本社工場の見学
- ・有限会社熊野養鶏 熊野智子さん、憲之さんによる講演・意見交換会
- ・たまご専門店熊福（熊野養鶏直売店）の見学

### (2) 若手会員のための活動の実施

Facebook や事務局通信等を利用し、農林水産省経営局就農・女性課女性活躍推進室の発信する情報等をシェアし、会員に周知した。

## 8) 行政等との意見交換

中央での畜産行政の現状等について学ぶとともに、畜産関係行政ご担当の方々との意見の交換を通じて、畜産の置かれた現状について理解を深めることを目的として下記の通り実施した。

- ◇開催日時：令和元年8月23日（金）10：00～12：00
- ◇開催会場：農林水産省 共用第2会議室
- ◇参加人数：会員等70名
- ◇テーマ：「生乳生産の今後のビジョンについて」  
「アフリカ豚コレラ・豚コレラや口蹄疫等の防疫対策について」  
「未来の畜産政策について（国内の畜産物をどう守るか）」  
「獣医師の担い手確保について」

## 9) 他団体との組織強化と交流

### ①外部に向けた組織活動の情報発信

中央畜産会が実施する畜産女性経営者育成強化事業に会員の小林陽子理事、畠中五恵子理事、前田佳代子さんが委員を務め、会員の声を代弁するなど、団体とのパイプ役を務めた。

また、同事業に係る全国シンポジウムと同日に大会を開催し、研修会への参加案内等、情報提供を行った。

### ②他団体との交流

5月29日に埼玉県「畜産女性いきいきネットワーク埼玉」通常総会への事務局出席、「酪農女性サミット2019 in 帯広」への会員、事務局出席により他団体との交流を深めた。

## 2. 令和元年度収支決算報告

### 令和元年度収支決算

収入の部

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

事業区分	予算額	決算額	差異	備考
1 会員会費収入	1,446,000	1,210,000	236,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度分の会費 69名×6,000円=414,000円 年度途中入会者6名分会費 20,000円</li> <li>・平成30年度分の会費未収分 4名×6,000円=24,000円</li> <li>・平成29年度分の会費未収分 1名×6,000円=6,000円</li> <li>・平成28年度分の会費未収分 1名×6,000円=6,000円</li> <li>・協賛会員 37団体×20,000円=740,000円</li> </ul>
2 大会参加収入	240,000	384,000	△ 144,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加費 96名×4,000円=384,000円</li> </ul>
3 研修会等参加収入	0	0	0	
4 広告料収入	210,000	200,000	10,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告掲載費 20口×10,000円=200,000円</li> </ul>
5 寄付金収入	1,000	0	1,000	
6 特別事業収入	1,000	0	1,000	
7 雑収入	1,000	13	987	・預金利子
当期収入合計	1,899,000	1,794,013	104,987	(A)
前期繰越収支差額	1,843,167	1,843,167	0	
収入合計	3,742,167	3,637,180	104,987	(B)

支出の部

事業区分	予算額	決算額	差異	備考
1 理事会開催費	472,680	228,044	244,636	【開催日】 第1回:5月13日、第2回:10月15日、第3回:3月4日(中止) ・旅費・交通費(1/2旅費補助) 第1回(12名)123,840円、第2回(8名)81,040円、 第3回(1名)6,060円(中止に伴うキャンセル料) ・茶菓代: 第1回(12名):1,193円、第2回(8名):1,205円 ・振込手数料:第1回、2回、3回:14,706円
2 大会開催費	588,792	572,475	16,317	(1)大会実行委員会開催費:66,153円【6月11日開催】 ・旅費・交通費(全額旅費補助)62,240円 ・振込手数料(旅費):3,240円 ・茶菓代(8名):673円 (2)大会開催費506,322円【8月22日開催】 ・会場借料等:293,634円 ・大会資料印刷費:108,700円 ・講師旅費(1名):16,300円 ・講師謝金(1名):84,200円 ・振込手数料 (会場借料、大会資料印刷費、講師旅費・謝金):3,488円
3 意見交換会開催費	6,500	43,200	△ 36,700	・議事録作成費:43,200円
4 研修会等開催費	100,000	0	100,000	
5 情報提供・収集費	177,500	129,580	47,920	・いきいき通信 第29号(220部):66,000円、第30号(220部):61,600円 ・振込手数料(いきいき通信第29号、第30号):1,980円
6 渉外費	13,000	0	13,000	
7 賃金	96,000	0	96,000	
8 事務諸費	413,000	293,661	119,339	・旅費交通費:680円 ・通信運搬費 (総会資料、いきいき通信、事務局通信発送料等):184,429円 ・消耗品費:2,705円 ・印刷製本費:19,775円 ・賃借料(PCリース代):84,092円 ・支払手数料:1,980円
9 会費及び賛助金	0	0	0	
10 雑費	10,000	324	9,676	・残高証明(1通)
11 予備費	20,000	0	20,000	
当期支出合計	1,897,472	1,267,284	630,188	(C)
当期収支差額	1,528	526,729	△ 525,201	(A) - (C)
次期繰越収支差額	1,844,695	2,369,896	△ 525,201	(B) - (C)

諸帳簿、証拠書類等を監査し、適正に処理されましたことを報告します。

令和2年 6 月 20 日

会計監事

嶋田 文代

木目澤 久實子

## II. 第2号議案 令和2年度活動計画（案）及び収支予算（案）

### 1. 令和2年度活動計画（案）

令和2年度の活動については、「情報発信・情報交換」「会員拡大」に重点を置いて活動する。

「いきいき通信」やホームページ等を効果的に活用し、会員の意見のくみあげや情報提供を行い組織の活性化を図る。

なお、大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とする。

#### 1) 総会の開催

総会は、議決事項を決議するため年度内に1回開催し、書面での開催とする。

#### 2) 理事会の開催

本ネットワークの活動計画や運営方針等を協議するため、会員の中から理事を選任し、理事の中から会長を選出する。年度内に理事会を3回開催する。

#### 3) 会員拡大と会員サービスの拡充

##### (1) 会員・協賛会員の拡大【重点取組み】

- ・組織強化に向け、会員の拡大を図るとともに、本ネットワーク活動を支援する『協賛会員』の拡大を図る。
- ・他団体が実施する研修会において活動紹介や会員募集のチラシ配布により入会を呼びかける。
- ・中央畜産会が実施する女性経営者育成強化事業の参加グループに活動紹介や会員募集のチラシ配布により入会を呼びかける。
- ・畜産協会を通じて女性グループへ会員募集のチラシ配布により入会を呼びかける。
- ・研修会等で参加者にその場で入会申込書を書いてもらう。

##### (2) 会員サービスの拡充

- ・オリジナル名刺の作成を継続、実施する。(会員の各地域での活動の場で、本ネットワークのPR)
- ・いきいき通信、事務局通信等で、地域で会員が活動するために必要な情報を提供する。

##### (3) ロゴマークの活用

シンボルマークとして、オリジナル名刺や、会員誌「いきいき通信」、その他印刷物やイベント等で、積極的に活用することとし、本ネットワークのPRを図る。

#### 4) 大会の開催

例年、組織の強化及び、畜産の現状、最新情報の共有を目的に開催していたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合する形での開催は困難な状況であるため中止とする。

なお、中央畜産会が実施する畜産女性経営者育成強化事業に係る「全国シンポジウム」にWebでの参加を本ネットワーク活動の一環として会員に呼び掛ける。

全国シンポジウムの参加者から参加した感想等についてアンケートを徴収し、いきいき通信に掲載する。

## 5) 情報発信、会員間の意見・情報交換

今年度も引き続き「情報発信、会員間の意見・情報交換」と「最新情報の収集」を行い、情報提供活動に努める。特に情報発信については、会員誌における執筆依頼はもちろん、各地で立ち上がっている地域ネットワーク活動等について、「こんなことをやっています」など、紹介も含めた情報提供等に協力をお願いする。

### (1) 会員誌の発行

より多くの会員の執筆により、定期的に発行する。特にあまり活動等に参加できない会員を一人でも多く紹介する「会員紹介のコーナー」の充実を図る。

### (2) ホームページによる情報発信

定期的に掲載内容を更新し、インターネットを活用した情報発信と最新情報の収集を積極的に行う。特に組織への参加意識を高めるようなホームページとする。

### (3) 『畜産コンサルタント』誌における専門コーナーの活用

引き続き、専門コーナーを活用した情報提供を行う。特に地域のネットワーク活動の報告等について、情報提供の充実を図る。

### (4) 事務局通信の発行

今後も事務局からの報告や緊急性を要する連絡事項等について、随時 FAX 等により連絡、周知を図る。

また、電子メールを利用できる会員には、電子メールでの送付に努める。

## 6) 消費者等との交流、研修会等への参加

### (1) 消費者等との交流

各関係団体や地域のホームページ等より情報収集を行い、会員への情報提供を行うとともに、イベントへの積極的な参加を促す。

### (2) 研修会等への参加

他団体や本ネットワークの事務局を置く中央畜産会等が開催する、経営・生産・流通に関する研修会等の情報を収集し、会員に積極的な参加を図る。

## 7) 若手後継者の育成

### (1) 若手後継者同士、親世代との交流

今後の畜産を担う若手後継者同士の交流を図るため、研修会を開催する。

なお、今年度は研修会の一環として、中央畜産会が実施する畜産女性経営者育成強化事業に係る「全国シンポジウム」に Web での視聴参加を呼び掛ける。

### (2) 若手会員のための活動の実施

若手会員間の意見交換の場として、ソーシャルネットワークシステム (Facebook 等) の活用等、よりアクセスしやすい情報交換の手段・方法等を検討する。

## 8) 行政との意見交換等

国の施策等の情報をいきいき通信、事務局通信を通じて会員へ情報提供する。

なお、行政との意見交換会については、行政担当者とも調整し、Web での実施について模索する。

## 9) 中央畜産会との組織強化と異業種生産者との交流

畜産女性経営者育成強化事業に協力するほか、他団体との交流活動を積極的に実施する。

## 2. 令和2年度収支予算（案）

収入の部

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業区分	予算額	前年度予算額	差異	備考
1 会員会費収入	1,442,000	1,446,000	△ 4,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度分の会費 94名×6,000円=564,000円</li> <li>・令和元年度分の会費 18名×6,000円=108,000円</li> <li>・新規加入会員 5名×6,000円=30,000円</li> <li>・協賛会員 37団体×20,000円=740,000円</li> </ul>
2 大会参加収入	0	240,000	△ 240,000	
3 研修会等参加収入	0	0	0	
4 広告料収入	180,000	210,000	△ 30,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告掲載費 18口×10,000円=180,000円</li> </ul>
5 寄付金収入	1,000	1,000	0	
6 特別事業収入	1,000	1,000	0	
7 雑収入	1,000	1,000	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預金利子:1,000円</li> </ul>
当期収入合計	1,625,000	1,899,000	△ 274,000	(A)
前期繰越収支差額	2,369,896	1,843,167	526,729	
収入合計	3,994,896	3,742,167	252,729	(B)

支出の部

事業区分	予算額	前年度予算額	差異	備考
1 理事会開催費	480,000	472,680	7,320	・旅費・交通費(1/2旅費補助) 140,000円×3回=420,000円 ・振込手数料:770円×20名×3回=46,200円 ・茶菓代:200円×23名×3回=13,800円
2 大会開催費	0	588,792	△ 588,792	・大会実行委員会開催費:0円 ・大会開催費:0円
3 意見交換会開催費	6,500	6,500	0	
4 研修会等開催費	100,000	100,000	0	・後継者育成等開催経費(通信運搬費等)
5 情報提供・収集費	477,500	177,500	300,000	・印刷代:467,500円 いきいき通信:150,000円×3回=450,000円 事務局通信等:17,500円 ・資料収集等:10,000円
6 渉外費	13,000	13,000	0	・ネット活動PR、他ネット交流等 13,000円×1回=13,000円
7 賃金	96,000	96,000	0	・事務補助アルバイト 月1日×12ヵ月×8,000円=96,000円
8 事務諸費	413,000	413,000	0	・旅費交通費:1,000円 ・通信運搬費:300,000円 ・消耗品費:10,000円 ・印刷製本費:40,000円 ・賃借料:60,000円 ・支払手数料:1,000円 ・雑費:1,000円
9 会費及び賛助金	0	0	0	
10 雑費	10,000	10,000	0	
11 予備費	20,000	20,000	0	
当期支出合計	1,616,000	1,897,472	△ 281,472	(C)
当期収支差額	9,000	1,528	7,472	(A) - (C)
次期繰越収支差額	2,378,896	1,844,695	534,201	(B) - (C)

Ⅲ. 第3号議案 令和2年度理事の改選  
【令和2年度理事名簿】(案)

役員

区 分	氏 名	都道府県	畜 種
会 長	小林 陽子	三重県	養 豚
副会長	柴田 誠子	秋田県	酪 農
	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
会計監事	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
	木目澤 久實子	福島県	酪 農

理事 (※理事 20 名体制)

区 分	氏 名	都道府県	畜 種
北海道・東北 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	柴田 誠子	秋田県	酪 農
	木目澤 久實子	福島県	酪 農
関 東 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京 神奈川・山梨・長野・静岡	月井千枝子	栃木県	酪 農
	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
	福田 弥生	神奈川県	酪 農
	田中 真紀子	神奈川県	酪 農
	佐藤 弘子	長野県	養 豚
北 陸 新潟・富山・石川・福井	島田 玲子	新潟県	養 豚
	長井 節子	富山県	酪 農
東 海 岐阜・愛知・三重	清水 ほづみ	愛知県	酪 農
	小林 陽子	三重県	養 豚
近 畿 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	池田 喜久子	滋賀県	酪 農
中国・四国 鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川 愛媛・高知	砂流 裕美子	島根県	酪 農
	藤井 美佐	岡山県	採卵鶏
	熊野 智子	愛媛県	採卵鶏
九州・沖縄 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島 沖縄	畠中 五恵子	福岡県	採卵鶏
	中島 陽子	福岡県	養 豚
	那須 眞理子	熊本県	肉用牛
	羽田野 由紀子	大分県	肉用牛

(参考)

【令和元年度理事名簿】

役員

区 分	氏 名	都道府県	畜 種
会 長	小林 陽子	三重県	養 豚
副会長	柴田 誠子	秋田県	酪 農
	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
会計監事	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
	木目澤 久實子	福島県	酪 農

理事（※理事20名体制）

区 分	氏 名	都道府県	畜 種
北海道・東北 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	柴田 誠子	秋田県	酪 農
	木目澤 久實子	福島県	酪 農
関 東 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京 神奈川・山梨・長野・静岡	月井千枝子	栃木県	酪 農
	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
	福田 弥生	神奈川県	酪 農
	田中 真紀子	神奈川県	酪 農
	佐藤 弘子	長野県	養 豚
北 陸 新潟・富山・石川・福井	島田 玲子	新潟県	養 豚
	長井 節子	富山県	酪 農
東 海 岐阜・愛知・三重	清水 ほづみ	愛知県	酪 農
	小林 陽子	三重県	養 豚
近 畿 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	池田 喜久子	滋賀県	酪 農
中国・四国 鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川 愛媛・高知	砂流 裕美子	島根県	酪 農
	藤井 美佐	岡山県	採卵鶏
	熊野 智子	愛媛県	採卵鶏
九州・沖縄 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島 沖縄	畠中 五恵子	福岡県	採卵鶏
	中島 陽子	福岡県	養 豚
	那須 眞理子	熊本県	肉用牛
	羽田野 由紀子	大分県	肉用牛

(参考)

全国畜産縦断いきいきネットワーク会員名簿(令和2年4月1日現在)

No	都道府県	名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	その他 支援機関
1	北海道	北澤 真由美	1				
2	北海道	柳原 美智子		1			
3	岩手県	白戸 綾子					1
4	秋田県	柴田 誠子	1				
5	秋田県	柴田 瑞穂	1				
6	山形県	小松 由佳			1		
7	福島県	阿部 フミ子	1				
8	福島県	木目澤 久實子	1				
9	福島県	国馬 ヨウ子		1			
10	福島県	先崎 幸江		1			
11	栃木県	今 克枝	1				
12	栃木県	月井 千枝子	1				
13	栃木県	前田 智恵子		1			
14	群馬県	石坂 恵美		1			
15	群馬県	岡田 光美		1			
16	埼玉県	金谷 恭子		1			
17	埼玉県	久保 香代子		1			
18	埼玉県	嶋田 文代				1	
19	埼玉県	白石 光江			1		
20	埼玉県	谷口 知子		1			
21	埼玉県	塚田 あつ子		1			
22	埼玉県	吉田 英子	1				

No	都道府県	名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	その他 支援機関
23	千葉県	池田 美香	1				
24	千葉県	伊藤 睦子	1				
25	千葉県	尾形 玲子					1
26	千葉県	川名 初江	1				
27	千葉県	柴 しづい			1		
28	千葉県	須藤 陽子	1				
29	東京都	岡部 由美子					1
30	東京都	西銘 容子					1
31	神奈川県	石井 絵美子		1			
32	神奈川県	臼井 スミ子			1		
33	神奈川県	北見 満智子			1		
34	神奈川県	齋藤 和子		1			
35	神奈川県	田中 真紀子	1				
36	神奈川県	福田 弥生	1				
37	神奈川県	三留 清美		1			
38	神奈川県	安田 和子				1	
39	神奈川県	吉田 恵子	1				
40	新潟県	桑原 朋子		1			
41	新潟県	島田 玲子			1		
42	新潟県	宮野 智子	1				
43	富山県	金田 外美子	1				
44	富山県	長井 節子	1				
45	富山県	西井 純					1

No	都道府県	名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	その他 支援機関
46	長野県	川上 志江			1		
47	長野県	佐藤 弘子			1		
48	長野県	本郷 万里子				1	
49	長野県	前田 祥子	1	1			
50	長野県	峯村 このみ		1			
51	岐阜県	肩野 淳子			1		
52	静岡県	杉村 雅子		1			
53	愛知県	石川 あい子			1		
54	愛知県	清水 ほづみ	1				
55	三重県	加藤 美子		1			
56	三重県	門脇 美千代		1			
57	三重県	窪田 悦子			1		
58	三重県	小林 陽子			1		
59	三重県	竹内 友子		1			
60	三重県	萩 美智代		1			
61	三重県	堀川 ゆかり					1
62	三重県	松葉 里美			1		
63	三重県	山下 恵美子				1	
64	三重県	渡邊 節子	1				
65	滋賀県	池田 喜久子	1				
66	兵庫県	山根 美智子	1				
67	奈良県	泉澤 ちゑ子			1		
68	奈良県	竹田 茂都美	1				
69	鳥取県	尾古 満子		1			

No	都道府県	名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	その他 支援機関
70	島根県	川村 千里		1			
71	島根県	砂流 裕美子	1				
72	岡山県	中条 麻子					1
73	岡山県	藤井 美佐				1	
74	岡山県	松下 久美子		1	1		
75	山口県	小野 綾乃			1		
76	山口県	藤井 朋子	1				
77	徳島県	鎌田 京子		1			
78	愛媛県	熊野 智子				1	
79	愛媛県	酒井 美子			1		
80	愛媛県	松田 ゆかり			1		
81	福岡県	江口 準子		1			
82	福岡県	中島 陽子			1		
83	福岡県	畠中 五恵子				1	
84	福岡県	深町 照代			1		
85	熊本県	大藪 真裕美	1				
86	熊本県	大和 とよ子			1		
87	熊本県	那須 眞理子		1			
88	熊本県	前田 佳良子			1		
89	大分県	羽田野 由紀子		1			
90	大分県	山下 眞弓	1				
91	宮崎県	小守 敏子		1			
92	鹿児島県	西園 由美子			1		
93	鹿児島県	鳩野 トミ子	1				
94	沖縄県	眞榮城 美保子		1			
計			29	30	23	7	7



